

基礎科目

授業科目名	右上表示
英語ⅠA（テキスト）	基礎-外1(1)
英語ⅠA（前期土曜スクーリング）	基礎-外1(2)
英語ⅠB（テキスト）	基礎-外2(1)
英語ⅠB（後期土曜スクーリング）	基礎-外2(2)
英語Ⅱ（テキスト）	基礎-外3(1)
英語Ⅱ（夏期）	基礎-外3(2)
英語Ⅱ（前期土曜）	基礎-外3(3)
英語Ⅱ（後期土曜）	基礎-外3(4)
英語コミュニケーション（夏期スクーリング）	基礎-外4(1)
英語コミュニケーション（前期土曜スクーリング）	基礎-外4(2)
英語コミュニケーション（後期土曜スクーリング）	基礎-外4(3)
ドイツ語	基礎-外5
ドイツ語会話	基礎-外6
フランス語	基礎-外7
フランス語会話	基礎-外8
中国語	基礎-外9
中国語会話	基礎-外10
韓国語	基礎-外11
韓国語会話	基礎-外12
情報処理演習（前期土曜スクーリング）	基礎-情1(1)
情報処理演習（夏期スクーリング）	基礎-情1(2)
情報科学	基礎-情2
身体運動実習（夏期スクーリング）	基礎-身1
身体運動論	基礎-身2

英語 I A (テキスト)

担当教員：佐藤 達郎・押田 昊子・西貝 真紀
越後谷明恵・小池 久恵・志水 光子

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

「英語 I A」では、平易な英語を理解できる英語の基本的な力を養います。外国語として英語を学ぶことは、誰にとっても楽しく易しいものとはかぎりません。英語が苦手な場合でも、それはもしかすると、これまで相性の良くなかった科目がたまたま英語だったということかもしれません。しかし現代社会において英語の基礎を勉強しておくことは、実生活において必要であるばかりでなく、時として楽しみやよろこびとも感じ取れるものです。

授業の方法

【印刷教材等】

『学習の手引』を参照しながら、テキストの5文型、不定詞と動名詞、分詞、名詞、代名詞、形容詞、冠詞、副詞、前置詞についての10Unitの要点を理解したうえで、レポート課題に解答します。また学習した箇所の英語力が身についているかを試すための科目修了試験を受け、それに合格したら単位がとれます。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

英語の基礎的学力を身につけるため、具体的には、必要な文法事項—5文型、不定詞と動名詞、分詞、名詞、代名詞、形容詞、冠詞、副詞、前置詞—を理解し、使えるようにします。

学習の進め方

10 Unit に分けて学習します。ここで扱うテキストは、英語にしばらく触れていなかった人も、英語を苦手と思い込んでいた人も、段階的に学習できるように組まれています。これらをマスターすれば、皆さんは英語会話の基本ができたこととなります。次のようなステップで自習してみてください。

1. はじめに、テキストの各 Unit の2ページ目にある Grammar Points (文法の要点) をしっかり学習しましょう。『学習の手引』をあわせて読んでください。
2. 「文法の要点」がだいたい理解できたところで、次に各 Unit の1ページ目にある Dialog (対話) を CD で聞いてみてください。Notes に出ている単語の意味を参考にして対話の意味を考えましょう。分からなかったら『学習の手引』を見てかまいません。「文法の要点」は最初は簡単に分かるものではないかもしれませんが、何度も何度も繰り返し読んでいくうちに、少しずつ分かってきます。
3. 次に Comprehension Questions をやってみてください。これは対話の意味が分かったかどうか確かめるものです。テキストに答えを書きこみましょう。確かめるために『学習の手引』を見てください。
4. 次にレポート課題です。レポート課題は Exercises の類似問題が出されます。この Unit で学んだことを復習して考えてみましょう。まず自分で Exercises の答えをテキストに書きこんでから、『学習の手引』で確認し、まちがっているところはなぜかを考えましょう。(注: Unit 1 では5文型を学習します。5文型は英語の骨格にあたります。しっかり学習しましょう。)
*レポート課題の提出では、ワープロ使用不可です。必ず筆写してください。
5. Extra 1 Using a Dictionary と Extra 2 Word Formation は余力のある方のためのものです。レポート課題のときに提出してもかまいませんが、必須ではありません。
6. 分からないことがあったら、質問票で質問してください。
7. 科目修了試験を受けるにあたってはテキスト範囲全体について十分に復習をしてください。

テキスト・参考書

①テキスト 新しくはじめる大学英語演習—Basic College English Seminar (CD付) 南雲堂 2007、学習の手引
[テキスト範囲] Unit1～10。ただし Reading 部分は除き、Exercise は Level 1 のみとします。また、Level 1 の中でも Reading に関するものは除きます。
テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 指定なし

成績評価

①レポート

全体を100として、課題の理解、「ねらい」「アドバイス」の活用、学生自身の学習成果、レポートとしての完成度などを総合的に評

値します。

②科目修了試験

全体を100点満点とし、テキストの各ユニットから出題します。文章の読解や和文英訳などを通して、文法的に正しい冠詞、名詞の形、動詞の形、語順など、基本的な英語力が身についているかどうかを確認します。配点は科目修了試験に明記します。

その他

[学生に薦める英和辞典]

研究社『ライトハウス英和辞典』第3版

研究社『リーダーズ英和中辞典』第2版

詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章英和辞書の使い方 (p. xxvi-xxvii) を参照してください。

英語 I A (前期土曜スクーリング)

担当教員： 平尾 吉直

1年次～ 必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

スクーリングでは、教室で先生と学習者が共に場を共有できるため、英語学習にコミュニケーションの側面を持たせることができます。教科書にある導入の会話は、教室でロールプレーをして英語で話す練習に使います。正しい発音、リズム、イントネーションを学び、英語で話す感覚を養います。また、文法を学び、練習問題をすることで、知識を定着させることができます。その上で、幅広い例文を学び、自分で英文を書き、話す練習を行います。さらに、実践的コミュニケーション能力育成のため、発展的な指導も行います。

授業の方法

【オンデマンド型 (manaba 利用)】

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

基本的な英語力の学習を目的とします。具体的には、正しい英語を書いたり話したりする能力を身につけます。

授業計画

「英語 I A」では Unit 1～10 を学習しますが、Reading 部分は除きます。また、Exercise は Level 1 を中心に学習します。教科書を毎回予習して、少なくとも、出てくる単語を必ず理解してから授業に臨みましょう。毎回、前の授業の理解確認のため復習テストがあります。「英語 I A」をしっかり学習し、「英語 I B」に進むステップとしましょう。

- | | | |
|-------------------|----------------------|----------------------------|
| 1. イントロダクション | 6. Unit 4 Nouns 1 | 11. Unit 8 Adverbs |
| 2. Unit 1 Verbs 1 | 7. Unit 5 Nouns 2 | 12. Unit 7～8 の復習 |
| 3. Unit 2 Verbs 2 | 8. Unit 6 Adjectives | 13. Unit 9 Prepositions 1 |
| 4. Unit 3 Verbs 3 | 9. Unit 4～6 の復習 | 14. Unit 10 Prepositions 2 |
| 5. Unit 1～3 の復習 | 10. Unit 7 Articles | 15. Unit 9～10 の復習 |

第1日目は1・2、第2日目は3～5、第3日目は6・7、第4日目は8～10、第5日目は11～13、第6日目は14・15を授業でおこなうことを目安とします。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

授業計画に基づき、教科書を必ず予習してきてください。1回の授業につき最低1時間。

②使用教科書 新しくはじめる大学英語演習—Basic College English Seminar (CD付) 南雲堂 2007、学習の手引

③参考書 指定なし

④準備するもの 英和辞典 (電子辞書可)

⑤成績評価 毎回行う復習テスト、平常点、最終試験を総合的に評価します。

⑥学生へのメッセージ

[学生に薦める英和辞典]

研究社『カレッジライトハウス英和辞典』第3版、同『リーダーズ英和中辞典』第2版

詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章 英和辞書の使い方を参照してください。

英語 I B (テキスト)

担当教員：佐藤 達郎・押田 昊子・西貝 真紀
越後谷明恵・小池 久恵・志水 光子

1年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

「英語 I B」では、「英語 I A」に続いて、平易な英語を理解できる英語の基本的な力をさらに養います。外国語として英語を学ぶことは、誰にとっても楽しく易しいものとはかぎりません。英語が苦手な場合でも、それはもしかすると、これまで相性の良くなかった科目がたまたま英語だったということかもしれません。しかし現代社会において英語の基礎を勉強しておくことは、実生活において必要であるばかりでなく、時として楽しみやよろこびとも感じ取れるものです。

授業の方法

【印刷教材等】

『学習の手引』を参照しながらテキストの助動詞、句動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来、能動態と受動態、条件と否定についての10Unitの要点を理解し、そのうえでレポート課題に解答し、それを提出します。また学習した箇所の英語力が身についているかを試すための科目修了試験を受け、それに合格したら単位がとれます。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

「英語 I A」につづく文法事項を10Unitに分けて学習します。その内容は、助動詞、句動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来、能動態と受動態、条件と否定です。これらをマスターすれば、皆さんは英語の基本ができたことになります。

学習の進め方

10Unitに分けて学習します。ここで扱うテキストは、英語にしばらく触れていなかった人も、英語を苦手と思い込んでいた人も、段階的に学習できるように組まれています。これらをマスターすれば、皆さんは英語会話の基本ができたことになります。次のようなステップで自習してみてください。

1. はじめに、テキストの各Unitの2ページ目にあるGrammar Points（文法の要点）をしっかりと学習しましょう。『学習の手引』をあわせて読んでください。
2. 「文法の要点」がだいたい理解できたところで、次に各Unitの1ページ目にあるDialog（対話）をCDで聞いてみてください。Notesに出ている単語の意味を参考にして対話の意味を考えましょう。分からなかったら『学習の手引』を見てかまいません。「文法の要点」は最初は簡単に分かるものではないかもしれませんが、何度も何度も繰り返し読むうちに、少しずつ分かってきます。
3. 次にComprehension Questionsをやってみてください。これは対話の意味が分かったかどうか確かめるものです。テキストに答えを書きこみましょう。確かめるために『学習の手引』を見てください。
4. 次にレポート課題です。レポート課題はExercisesの類似問題が出されます。このUnitで学んだことを復習して考えてみましょう。まず自分でExercisesの答えをテキストに書きこんでから、『学習の手引』で確認し、まちがっているところはなぜかを考えましょう。
*レポート課題の提出では、ワープロ使用不可です。必ず筆写してください。
5. Extra 3 Paragraphs と Extra 4 Pronunciation and Stress は余力のある方のためのものです。レポート課題のときに提出してもかまいませんが、必須ではありません。
6. 分からないことがあったら、質問票で質問してください。
7. 科目修了試験を受けるにあたってはテキスト範囲全体について十分に復習をしてください。

テキスト・参考書

①**テキスト** 新しくはじめる大学英語演習—Basic College English Seminar (CD付) 南雲堂 2007、学習の手引
[テキスト範囲] Unit 11-20。ただしReading部分は除き、ExerciseはLevel 1のみとします。また、Level 1の中でもReadingに関するものは除きます。

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②**参考書** 指定なし

成績評価

①レポート

全体を100として、課題の理解、「ねらい」「アドバイス」の活用、学生自身の学習成果、レポートとしての完成度などを総合的に評

価値します。

②科目修了試験

全体を100点満点とし、テキストの各ユニットから出題します。文章の読解や和英訳などを通して、文法的に正しい冠詞、名詞の形、動詞の形、語順など、基本的な英語力が身についているかどうかを確認します。配点は科目修了試験に明記します。

その他

[学生に薦める英和辞典]

研究社『ライトハウス英和辞典』第3版、同『リーダーズ英和中辞典』第2版

詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章 英和辞書の使い方 (p. xxvi-xxvii) を参照してください。

英語 I B (後期土曜スクーリング)

担当教員： 小森 由里

1 年次～ 必修2 単位

スクーリング科目／2023 年度

概要

スクーリングでは、教室で先生と学習者が場を共有できるため、英語学習にコミュニケーションの側面を持たせることができます。教科書の文法項目を学習し練習問題によって文法項目を定着させた後に、その項目を用いて、実際に学習者が遭遇するであろう英語運用場面を想定したロールプレーを行います。正しい発音、リズム、イントネーションを学び、英語で話す感覚を養います。また、幅広い例文を提示し、実践的コミュニケーション能力育成のための発展的な指導も行います。

授業の方法

【同時双方向型 (manaba、Zoom 利用)】

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

英語の基本的な文法項目を学習し、その知識を活用して実践的コミュニケーション能力を育成することを目標とします。ロールプレーや聞き取りの練習を行い、さまざまな場面に応じて、英語を話したり聞いたりする能力を身につけます。

授業計画

「英語 I B」では、教科書の Unit11～20 を学習します。但し、Reading と Exercises Level 2 を除きます。さらに、レストランの予約、電話のメッセージの伝達、道案内などを英語で行うロールプレーや聞き取り練習をし、英語を使ったコミュニケーションの学習も行います。

第1 日目 (Zoom と manaba)

1. オリエンテーション、「英語 I A」の復習
2. Unit 11 Auxiliary Verbs

第2 日目 (Zoom と manaba)

3. Unit 12 Phrasal Verbs
4. Unit 13 Conjunctions 1
5. Unit 11-13 の復習、ロールプレー、聞き取り練習

第3 日目 (Zoom と manaba)

6. Unit 14 Conjunctions 2
7. Unit 15 Comparisons

第4 日目 (Zoom と manaba)

8. Unit 16 Tenses 1
 9. Unit 17 Present Perfect & Future
 10. Unit 14-17 の復習、ロールプレー、聞き取り練習
- 第5 日目 (Zoom と manaba)
11. Unit 18 Active Voice & Passive Voice
 12. Unit 19 Tenses 2
- 第6 日目 (Zoom と manaba)
13. Unit 20 Conditionals & Subjunctives
 14. Unit 18-20 の復習、ロールプレー、聞き取り練習
 15. Extra 3-4 Paragraphs, Pronunciation and Stress

授業は毎回 Zoom と manaba を利用して行います。また、文法やロールプレーのハンドアウトは授業前に manaba に掲示します。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

「英語 I B」では、「英語 I A」で学習したことが身につけていることを前提に授業を進めます。「英語 I B」を受講する前に、「英語 I A」で学んだことを復習してください。『学習の手引』の第1 章英語の基本ルールと第2 章文法の要点補足説明を十分に理解した上で授業に臨んでください。受講前には5 時間以上準備学習を行うことが必要です。

毎回、授業のはじめに復習テストをします。教科書の Grammar Points と Exercises を復習し、授業で配付した文法のハンドアウトも参照してテストに備えてください。また、ペアでロールプレーの発表も行います。次の授業の準備として、教科書の Grammar Points をよく読み、Exercises を予習してください。授業外学習には1 時間以上を費やし、十分な復習と予習を行ってください。

②使用教科書 新しくはじめる大学英語演習—Basic College English Seminar (CD 付) 南雲堂 2007、学習の手引

③参考書 指定なし

④準備するもの 英和辞典 (電子辞書も可)

⑤成績評価 毎回行う復習テストおよびロールプレーの発表、平常点、最終試験を総合的に評価します。

⑥学生へのメッセージ

[学生に薦める英和辞典]

研究社『カレッジライトハウス英和辞典』第3 版、同『リーダーズ英和中辞典』第2 版など

詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3 章英和辞書の使い方を参照してください。

英語Ⅱ (テキスト)

担当教員：小林 かおり・海老名 恵・中村 美帆子
原 直子・平尾 吉直・馬上 紗矢香

2年次～ 必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

「英語Ⅱ」は、「英語ⅠA・ⅠB」で学習した基礎を土台にして、少し長めの英文を読み解くための読解力を養うことを目的としています。「英語ⅠA・ⅠB」で学習した総合的な文法項目の中から特に重要なものを取り上げて集中的に学習することにより、いろいろな種類の英文にも対応できる基礎力を養います。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

文法事項の中で、5文型、不定詞と動名詞、分詞、冠詞、前置詞、助動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来形の理解を目指します。

学習の進め方

1. テキストの範囲は、Unit 1、2、3、7、9、11、13、15、16、17で、主にReadingとLevel 2を学習します。
2. はじめに、テキストの各Unitの2ページ目にあるGrammar Points(文法の要点)をしっかりと読んで、学習しましょう。すでに「英語Ⅰ」をとった方も、もう一度、この部分を復習してください。『学習の手引』をあわせて読んでください。
3. 「文法の要点」を確実に理解できているかどうか、復習します。
4. 各Unitの3ページ目にあるReadingの箇所をCDで聞いてください。Notesに出ている単語の意味を参考にして、文章全体の意味を考えましょう。分からなければ、『学習の手引』を見てもかまいません。
5. Comprehension Questionsをやってみましょう。これは文章の意味が分かったかどうか確かめるものです。テキストに答えを書きこみましょう。確かめるために『学習の手引』を見てください。
6. Exercisesの答えをテキストに書きこんでから、『学習の手引』で確認し、間違ったところは何度も復習しましょう。
7. レポート課題に答えます。レポート課題には、Exercisesの類似問題が出されています。各Unitで学んだことを再度確認しながら答えましょう。
8. 分からないことがあれば、質問票(Eメールを含む)を使って質問してください。
9. 科目修了試験に向けて、語彙、文法事項を再確認することを心がけ、十分に復習しましょう。

テキスト・参考書

①テキスト 新しくはじめる大学英語演習 南雲堂 2007、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 特になし

成績評価

- ①レポート 全体を100として、課題の理解80%、学生自身の学習成果20%として評価します。
- ②科目修了試験 全体を100点満点として、詳しい配点は試験問題に明記します。

その他

[学生に薦める英和辞典]

大修館書店『ジーニアス英和辞典』

詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章英和辞書の使い方(p.xxvi-xxvii)を参照してください。

[その他]

一つ一つの文法事項を確実に理解し、ひとつおろすべて学習したら、何度も繰り返して理解を定着させていきましょう。

英語Ⅱ（夏期スクーリング）

担当教員：田中 みんね

2年次～ 必修（2）単位

スクーリング科目／2023 年度

概要

「英語Ⅱ」では、英語を読むために必要な文法事項の中で、特に重要と思われる文法事項（5文型、不定詞と動名詞、分詞、冠詞、前置詞、助動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来形など）を集中的に学習します。文法の学習や練習問題をする中で、担当教員から英語に関する細かい説明を受けたり、また、疑問点をすぐに担当教員に質問することができるでしょう。さらに、英語の正しい発音やリズム、自然なイントネーションなどの指導も受けることができます。

授業の方法

【面接】 Manaba を用いて小テスト、レポート提出。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

「英語Ⅱ」のスクーリングでは、「英語Ⅰ」で学習した文法事項をさらに発展させて、エッセイや新聞記事、インターネットなど、様々なジャンルの英文を読みこなすための基礎力を養うことを目標にします。

授業計画

イントロダクション：授業の進め方（manabaに事前掲示）

1. Orientation, Self-Introduction（第1日：対面のちmanaba）
2. Unit 1 Verbs 1, Unit 2 Verbs 2
3. Unit 3 Verbs 3
4. Unit 5 Nouns 1（以上第2日：対面のちmanaba）
5. Extra 1 Using a Dictionary, Unit 6 Nouns 2
6. Unit 7 Articles
7. Unit 8 Adverbs（以上第3日：対面のちmanaba）
8. Unit 9 Prepositions 1, Unit 10 Prepositions 2
9. Unit 11 Auxiliary Verbs, Unit 12 Phrasal Verbs（以上第4日：対面のちmanaba）
10. Unit 13 Conjunctions 1, Unit 14 Conjunctions 2
11. Unit 15 Comparisons, Extra 3
12. Unit 16 Tenses 1（以上第5日：対面のちmanaba）
13. Unit 17 Present Perfect & Future, Unit 18 Active Voice and & Passive Voice
14. Unit 19 Tenses 2, Unit 20 Conditionals & Subjunctives
15. Extra 4, Course Review（第6日：対面のちmanaba）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

中学・高校における学習内容をひととおり復習しておくことが望まれます。

予習：各Unitごとのわからない単語を調べ、単語帳を作成する。1時間

復習：説明した文法事項を確認するために、英作文を作成する。30分

②使用教科書 新しくはじめる大学英語演習 南雲堂 2007、学習の手引

③参考書 指定なし

④準備するもの 英和辞典（電子辞書可）：詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章英和辞書の使い方を参照してください。

⑤成績評価 全体を100として、口頭試問(50%)、課題(50%)、で評価します。

⑥学生へのメッセージ 毎回、授業計画に即して予習してきてください。

英語Ⅱ（前期土曜スクーリング）

担当教員：中山 千尋

2年次～ 必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

「英語Ⅱ」では、英語を読むために必要な文法事項の中で、特に重要と思われる文法事項（5文型、不定詞と動名詞、分詞、冠詞、前置詞、助動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来形など）を集中的に学習します。文法の学習や練習問題をする中で、担当教員から英語に関する細かい説明を講義形式で配信いたします。また、疑問点をすぐに担当教員にオンライン上で質問することができます。さらに、英語の正しい発音やリズム、自然なイントネーションなどの指導も受けることができます。

授業の方法

【オンデマンド型（manaba利用）】

講義動画を視聴することで学び小テストや課題提出による理解度確認や質疑 応答、履修生同士の意見交換等を行います。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

「英語Ⅱ」のスクーリングでは、「英語Ⅰ」で学習した文法事項をさらに発展させて、エッセイや新聞記事、インターネットなど、様々なジャンルの英文を読みこなすための基礎力を養うことを目標にします。

授業計画

1. イントロダクション：授業の進め方（第1日：オンデマンド型(manaba)）
2. Unit 1 Verbs 1（主にReadingとLevel 2を中心に学習します。以後も同じ）
3. Unit 2 Verbs 2
4. Unit 3 Verbs 3（以上第2日：オンデマンド型(manaba)）
5. 動詞関連項目のまとめ
6. Unit 7 Articles
7. Unit 9 Prepositions 1（以上第3日：オンデマンド型(manaba)）
8. 冠詞、前置詞のまとめ
9. Unit 11 Auxiliary Verbs
10. Unit 13 Conjunctions 1
11. Unit 15 Comparisons（以上第4日：オンデマンド型(manaba)）
12. 助動詞、接続詞、比較の用法のまとめ
13. Unit 16 Tenses 1
14. Unit 17 Present Perfect & Future（以上第5日：オンデマンド型(manaba)）
15. 全体のまとめ（第6日：オンデマンド型(manaba)）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

中学・高校における学習内容をひととおり復習しておくことが望まれます。時間数は特に定めません。

②使用教科書 新しくはじめる大学英語演習 南雲堂 2007、学習の手引

③参考書 指定なし

④準備するもの 英和辞典（電子辞書可）：詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章英和辞書の使い方を参照してください。

⑤成績評価 全体を100として、毎回の課題（70%）、レポート（30%）から評価します。

⑥学生へのメッセージ 毎回、授業計画に即して予習してきてください。

英語Ⅱ（後期土曜スクーリング）

担当教員：高梨 絵梨沙

2年次～ 必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

「英語Ⅱ」では、英語を読むために必要な文法事項の中で、特に重要と思われる文法事項（5文型、不定詞と動名詞、分詞、冠詞、前置詞、助動詞、接続詞、比較、時制、完了形と未来形など）を集中的に学習します。教室で学習できるため、文法の学習や練習問題をやる中で、担当教員から英語に関する細かい説明を受けたり、また、疑問点をすぐに担当教員に質問することができるでしょう。さらに、英語の正しい発音やリズム、自然なイントネーションなどの指導も受けることができます。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

「英語Ⅱ」のスクーリングでは、「英語Ⅰ」で学習した文法事項をさらに発展させて、エッセイや新聞記事、インターネットなど、様々なジャンルの英文を読みこなすための基礎力を養うことを目標にします。

授業計画

1. イントロダクション：授業の進め方
2. Unit 1 Verbs 1（主にReadingとLevel 2を中心に学習します。以後も同じ）
3. Unit 2 Verbs 2（第1日）
4. Unit 3 Verbs 3
5. 動詞関連項目のまとめ
6. Unit 7 Articles（以上第2日）
7. Unit 9 Prepositions 1
8. 冠詞、前置詞のまとめ
9. Unit 11 Auxiliary Verbs（以上第3日）
10. Unit 13 Conjunctions 1
11. Unit 15 Comparisons（以上第4日）
12. 助動詞、接続詞、比較の用法のまとめ
13. Unit 16 Tenses 1
14. Unit 17 Present Perfect & Future（以上第5日）
15. 全体のまとめ（最終試験、ショート・プレゼンテーション）（第6日）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

中学・高校における学習内容をひととおり復習しておくことが望まれます。時間数は特に定めません。

②使用教科書 新しくはじめる大学英語演習 南雲堂 2007、学習の手引

③参考書 指定なし

④持参するもの 英和辞典（電子辞書可）：詳しくは『学習の手引』英語学習のための基礎知識 第3章英和辞書の使い方を参照してください。授業中はスマートフォンを辞書の代わりとするのは不可とします。

⑤成績評価 全体を100として、毎回の復習テスト、授業参加、ショート・プレゼンテーション、最終試験から評価します。

⑥学生へのメッセージ 毎回、授業計画に即して予習してきてください。初回授業には必ず教科書を持参すること。（初回からUnit1,2の学習を始めるため）

英語コミュニケーション（夏期スクーリング）

担当教員： 林 美里

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

本授業では、①モデルとなる英会話を聞き取る、②様々な文章や資料から情報を読み取る、③自分の言葉で他者に伝える、ということを中心に学習します。日常の中で身近な内容・表現を扱い、実際に聞く・話すという活動を行います。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba利用）、同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom利用）】

指定テキストのほか、配信する講義動画・資料を視聴・閲覧しながら学習を進めてください。1部のユニットについては、双方向型の授業を毎日実施します（zoom使用、参加必須）。ユニット毎に小テストを実施し、双方型授業の中でも理解度確認を行います。口頭での質疑応答、履修生同士の意見交換等はzoomの授業の中で行うことができます。（授業期間内、メールでも質問対応します）

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

英語でのコミュニケーション能力を高めることに重点を置き、相手が意図することを理解し、自分自身の意志を伝えることができるようになる、ということを目指します。

授業計画

イントロダクション（授業の進め方と学生に求めるもの）

1. Day 1 (pp. 8～11)、(zoomでの双方型授業を実施)*
2. Day 2 (pp. 12～15)
3. Day 3 (pp. 16～19)
4. Day 4 (pp. 20～23)
5. Day 5 (pp. 24～27) (以上第1日)、
6. Day 6 (pp. 30～33)、(zoomでの双方型授業を実施)*
7. Day 7 (pp. 34～37)
8. Day 8 (pp. 38～41)
9. Day 9 (pp. 42～45)
10. Day 10 (pp. 46～49)、(以上第2日)
11. Day 11 (pp. 52～55) (zoomでの双方型授業を実施) *
12. Day 12 (pp. 56～59)
13. Day 13 (pp. 60～63)
14. Day 14 (pp. 64～67)
15. Day 15 (pp. 68～71)、まとめ (以上第3日)

*1部のユニットについては会話演習を中心に、zoomによる双方型授業を実施します。授業期間中毎日朝9時から10時40分まで行います（参加必須、途中5分ほど休憩あり）。

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

今回の授業範囲となるUnitは必ず目を通してきてください。特にReadingの箇所は完璧に訳文を書く必要はありませんが、分からない単語の意味を調べ、全体的にどんな事が書かれているか把握するところまでは予習しておいてください（最低2時間）。

②使用教科書 Let's Check Out the UK! Paul Chris MacVay 金星堂 2015。授業開始日までに必ず入手しておくこと。

③参考書 指定なし

④準備するもの

教科書、英和辞典（大修館書店『ジーニアス英和辞典』、研究社『リーダーズ英和中辞典』など、電子辞書可）、筆記具。

授業参加にあたっては、zoomをインストール、使用できるようにしておくこと。発言が可能な、静穏な環境から参加すること（電車の中やカフェなど、声を出せない場所からの参加は不可。判明した時点で欠席扱いとする）。インターネット環境・使用するパソ

コンの音声・カメラデバイスを整えておくこと。

⑤成績評価

評価は、双方型授業での授業貢献度が30%、授業動画などを通じた授業参加が15%、復習小テストなどの課題評価を55%とします。復習小テストでは、前回の授業で扱った語彙、表現についての確認を行います。

以下の①～③のいずれかに該当する場合は単位取得を認めません。①双方型授業を1.5回分以上欠席した場合(0.5回遅刻、早退など)、②課題の小テストの未提出が計6回のうち1/3回以上の場合、③各回のテストの成績が著しく不良で総合点が合格基準に達しない、④視聴必須としている授業ページ・動画の未確認・未視聴が全体の1/3以上であることが判明した場合

⑥学生へのメッセージ

今年度は遠隔授業かつ授業日数が3日になりました。短い期間にしっかりと学習に取り組んでいただきたいため、今まで任意参加としていたzoom授業は朝9時から10時40分までの時間に実施し、全員参加に変更しました。詳細はシラバス、案内動画で説明します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。日常生活の中で英語を使用する機会は少ないと思いますが、この授業で集中して英語に触れることで英語を聞くこと話すことの面白さ、また英語圏の文化に触れる楽しさを体感いただければとても嬉しいです。

英語コミュニケーション（前期土曜スクーリング）

担当教員： 小池 久恵

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

イギリス文化をテーマとし、さまざまなトピックを題材に英語コミュニケーション能力を養います。コミュニケーションに必要な言語と社会・文化を理解し背景知識を深めながら、英文資料の精読、速読、文法確認を通して英語の技能向上を目指します。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom, Microsoft Teams 利用）】

LMS(manaba)と Microsoft Teams を利用し、リアルタイムでの講義と双方向での議論を中心に授業を進めます。manaba にアップする講義資料だけでなく、映像資料やインターネットを活用したオンライン資料も取り入れ、アクティブに英語の受信発信をおこないます。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

イギリス文化を通して英語を学ぶ。英文の速読速解能力を養う。英語の受信・発信力を高める。

授業計画

【第1日】(Teams のち manaba)

1. イギリスの4つの文化圏
2. イングランドの歴史風土
3. イングランドの文化

【第2日】(Teams のち manaba)

4. ウェールズの歴史風土
5. ウェールズの文化

【第3日】(Teams のち manaba)

6. スコットランドと北アイルランドの歴史風土
7. スコットランドと北アイルランドの文化

【第4日】(Teams のち manaba)

8. イギリス文学（英語文学と文学賞）
9. イギリス文学（ミステリ小説）

【第5日】(Teams のち manaba)

10. イギリス演劇（文化遺産としての演劇）
11. イギリス演劇（シアターランドと役者たち）
12. イギリス演劇（シェイクスピアと日本）

【第6日】(Teams のち manaba)

13. 年間行事（ディケンズとクリスマス）
14. 年間行事（イベントと衣・食文化）
15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

manaba の連絡事項と配布資料を読んで授業にのぞんでください。予習・復習・課題レポート作成に90分以上充てること。

②使用教科書 授業で使用する資料等はmanaba にアップします。

③参考書 授業時に紹介します。

④準備するもの 英和辞書（電子辞書可）を用意してください。

⑤成績評価 授業参加度及び毎回授業内で指示する課題70%、まとめのレポート課題30%とします。

⑥学生へのメッセージ 授業に関する連絡・授業資料の提示・レポート課題の提出と個別のフィードバックはmanaba を通しておこないます。第1回授業前にイントロダクション(授業の説明・事前準備など)を manaba に掲示しますので確認をお願いします。

英語コミュニケーション（後期土曜スクーリング）

担当教員： 平尾 吉直

1年次～ 選択必修2単位

科目／2023年度

概要スクーリング

実用の英語コミュニケーション能力の習得を目指し、英文の正確で迅速な内容把握のための速読トレーニングを中心に、演習形式で授業を行う。具体的には、文意に沿った語彙の解釈、適切な構文理解、状況に応じた文意の把握を行うために、さまざまな形式の演習を行っていく。

授業の方法

【オンデマンド型 (manaba 利用)】

基本的な英文法の知識をツールにして、少々歯ごたえのある文を、作者の意図を探りながら読んでいきます。

学位授与方針との関係

大学DP3 大学DP4

到達目標

英語による読書力、相手の意図を理解するには、どこにポイントを置いたらよいかを判断する能力を身に着けることを目標とします。また、ジャズの誕生における英語の果たした役割から、英語の特異な発音の仕組みを理解し、コミュニケーションに応用することを目指します。

授業計画

第1日目：

1. 授業の進め方と方針の紹介
2. 日本語と英語の違い 文法／発音

第2日目：

3. 英文法の基礎 五文型とSVOC
4. 作者スターンズ、及びジャズの歴史について
5. Jazz and West African Music (1)
ジャズとは何か？
6. Jazz and West African Music (2)
西アフリカ音楽のわかりにくさ

第3日目：

7. From Africa To the New World
西アフリカ音楽の影響
8. New Orleans Background (1)
ニューオリンズの歴史

第4日目：

9. New Orleans Background (2)
ブラスバンドのブーム
10. Jazz Begins (1)
秘密結社と慈善団体

第5日目：

11. Jazz Begins (2)
アフリカの秘密結社
12. Baddy Bolden and the Growth of Jazz (1)
カーヴィング・コンテスト、音楽のバトル

第6日目：

13. Baddy Bolden and the Growth of Jazz (2)
伝説のトランペッター、バディ・ポールデン
14. 英語のリズムとジャズ
15. まとめ (作者の意図はどこに?)

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

課題の作成、予習・復習などに最低3～4時間は充てるようにしてください。

②使用教科書 プリント教材

③参考書 必要に応じて授業で紹介します。

④準備するもの 英和辞書（電子辞書可）は必ず利用してください。研究社『ライトハウス英和辞典』、大修館書店『ジーニアス英和辞典』など。

⑤成績評価 平常課題・授業参加：50% 学期末課題：50%

⑥学生へのメッセージ LMS【manaba】は週に必ず複数回チェックしてください。

ドイツ語（前期土曜スクーリング）

担当教員： 小出 昌弘

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

大学に入って外国語を二つ以上勉強することは既に世界の常識ですね。manaba と Zoom を用いて（慣れてしまえばなんということはありません）、テキスト【開講時に北ドイツの風景や町並みなどの写真も織り込んだオリジナルの教材を配布しますので、お財布には優しい!?!】やパワーポイントなどの資料に沿って読み・書き・聞き・話すためのドイツ語の入り口と言うべき基礎の基礎を学んでいきます。毎回この言語の様々な基本的な仕組み・仕掛けをわかり易く説明して、皆さんにもその都度問題を解いて頂きながら参加してもらって進めていく形式です。基礎を勉強すれば、楽しいドイツ旅行やドイツ人との交流、メールのやり取り、また、簡単な童話などから進んで原書購読、あるいは英語との比較等々…様々な新しい世界があらから近づいてきてくれます。毎回授業の最後には、写真やネットを見ながらバーチャル旅行もしてみるなど、映像や写真などをお見せしてまいります。皆さんが以後、独力でも中級・上級を目指して学習を続けられるように基礎固めをします。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

辞書等も活用して、ドイツ語の基本的な会話・読解・作文ができることを目標とします。

授業計画

授業は初回よりすべて Zoom を用いて行い、まとめの資料などは manaba に掲載致します。	8. 現在形の用法	
1. ガイダンス・勉強の進め方ドイツ・ドイツ語とは（第1日）	9. 動詞を用いた様々な表現練習	
2. アルファベット	10. 名詞の性	（以上第4日）
3. 発音とつづり	11. 定冠詞と不定冠詞	
4. ドイツ語の主語	12. 名詞の格変化	
5. 現在人称変化	13. 名詞を用いた様々な表現練習	（以上第5日）
6. 不定詞と定動詞 及び 定動詞の位置	14. 不規則動詞・名詞の複数形・冠詞類	
7. 語順について	15. まとめ	（以上第6日）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

街中やメディアで見つけたドイツ語らしきものがあれば書き留めておいたり、ドイツの地図を眺めておくのも良いでしょう。1回の授業につき1時間程度の復習をしてください。

②使用教科書 初回配付のテキストや資料を使用します。

③参考書 特に定めません。

④準備するもの 独和辞典をお持ちでしたら準備しておいてください【必携ではありません】。紙のモノ（極端に古いものでなければ）でも電子辞書でも使えます。

⑤成績評価 スクーリング最終日実施の試験（60分程度）を中心に評価。

⑥学生へのメッセージ

わずか6回という短い期間ではありますが、楽しくすすめて行きたいと思います。ドイツ旅行に行ってみたいという方・英語は苦手だけれどもドイツ語はやってみたいという方・独和辞典がたまたま家に転がっていたという方…等々大歓迎です。年二回実施されるドイツ語検定などもあり、5級くらいなら結構すぐに受かります。ここで得た知識は様々な場面で生かせるはずですので、一緒に頑張りましょう！「同時双方向型遠隔授業」という難しそうな名前になっていますが、IT機器に疎い方でも大丈夫、気楽に受講して頂きたいと思います。

ドイツ語会話（夏期スクーリング）

担当教員： 小出 昌弘

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

大学に入って外国語を二つ以上勉強することは既に世界の常識ですね。全くの初心者の方を中心として、ドイツ語表現に必要な基礎をゆっくり学びます。ドイツの地図を見ながら、大都市や観光地、ロマンチック街道・メルヘン街道ってどの辺り？空港は？等々から始め、続いてABCの発音や単語の読み方など習得します。短いフレーズを自ら表現出来るような練習をして参りましょう。テキストは開講時配付の資料やパワーポイント等になりますので、家計にも優しい講座です。ドイツ語の仕掛けをわかり易く説明して、皆さんと一緒に考えながら進めます。基礎を学べば、「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」すらドイツ語で言うことなく帰国して終わりのツアーも卒業です。ドイツ人との交流やメールのやり取りも始まるかもしれません。又、簡単な童話等から進んで原書購読、英語との比較、ドイツひとり旅等々、様々な分野にも繋がるでしょう。毎回授業の最後には、動画・写真等を見たりネットを使って隠れたドイツの名所や旅行情報等もお示したいと思っています。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

ドイツ語の基本的な理解・表現等ができることを目標とします。

授業計画

授業は初回よりすべて Zoom を用いて行い、まとめの資料などは manaba に掲載致します。

【第1日・ドイツ語の基礎的な知識・発音の規則と動詞を使うための準備】

1. ガイダンス・勉強の進め方
2. アルファベットは英語と同じ…いや、変なテンテンが？！
3. ドイツ語はとにかく変化がお好き
4. お前と貴方の関係は…
5. 動詞のダウンロードとインストール

【第2日・動詞を使って表現してみる・名詞を使うための準備】

6. 自己紹介をしてみよう！

7. 言語の才能がありますねえ！
 8. ところ変わればドイツ語も変わる
 9. ホロ苦い性の悩みについて
 10. 女性ではなかった少女の話
 11. ご出身はどちら？
- 【第3日・名詞を使って表現してみる・まとめと展望】
12. 時間が経つのは早いものですね
 13. 一つだけでも手一杯なのに、それ以上無理！？
 14. 電話番号を教えてください？
 15. 教会の鐘も鳴り、宴もたけなわですが… まとめ・復習。

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

ドイツ語らしき単語を見つけたら書き留めておいたり、ドイツの地図や旅行案内などを眺めておくのも良いかもしれません。毎回1時間程度の復習をしてください。

②使用教科書 初回配付の資料・テキストを使用します。

③参考書 指定なし

④準備するもの 独和辞典をお持ちでしたら出しておいてください【必携ではありません】。電子辞書でも紙のモノでも可。

⑤成績評価 スクーリング最終日実施の試験や課題を中心に平常点も加味して評価。

⑥学生へのメッセージ

旅行に行きたい・英語は苦手だがドイツ語はやってみたい・なるべくお金をかけずにちゃっちゃと終えたい…様々な方歓迎です。会話の授業とはなっていますが、構えるような大げさなものでもなく、事前の知識も不要で、基礎の基礎をゆっくりやりますし、急にドイツ語で話しかけたりもしませんので安心してください。ITに疎い方でも大丈夫。独検も5級程度は結構すぐに受かりますので、一緒に頑張りましょう！

フランス語（夏期スクーリング）

担当教員： 西脇 雅彦

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

フランス語の基礎を学びます。やさしい会話表現をもとに文法事項を確認し、練習問題やペアワークなどをおしてフランス語に親しんでいきます。教科書は、日本人の主人公 Aya がパリの料理学校に留学するというストーリーになっています。時間の許すかぎりフランス文化の紹介も行います。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

Zoomを利用したリアルタイムで授業を行います。解説のあとは、みなさんに参加してもらいながら進めていきます。ZoomやLMS【manaba】経由で課題を提出してもらうこともありますが、はじめて作業を行う際には時間を取って説明します。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4 大学DP3

到達目標

フランス語の基礎を身につける。フランス文化に対する理解を深める。

授業計画

第1日：Zoom

1. インTRODクシヨN（授業の進め方、フランス・フランス語について）
2. アルファベ、綴り字の読み方
3. 国籍、動詞 être、挨拶
4. 名詞、不定冠詞
5. 指示代名詞、形容詞の性・数一致

第2日：Zoom

6. -er 動詞
7. 定冠詞、疑問文
8. 動詞 avoir
9. 形容詞の位置、強勢形人称代名詞
10. 否定文

第3日：Zoom

11. 動詞 aller と近接未来
12. 指示形容詞、動詞 faire
13. 所有形容詞、動詞 pouvoir
14. 疑問詞
15. まとめ

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 事前準備はとくに必要ありません。
- ②使用教科書 タルト・タタン 藤田裕二・東海麻衣子 駿河台出版社
- ③参考書 指定なし
- ④準備するもの 教科書
- ⑤成績評価 授業での発言や取り組み、諸々の課題を総合的に評価します。
- ⑥学生へのメッセージ 楽しみながらフランス語を学んでいきましょう。

フランス語会話（後期土曜スクーリング）

担当教員： 西脇 雅彦

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

フランス語の基礎的な文法と発音を学び、練習問題やペア・ワークなどをおしてコミュニケーションに役立つ表現を習得していきます。主な対象は既習者ですが、はじめてフランス語を学ぶひとにも受講できます。時間の許すかぎりフランス文化の紹介も行います。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

Zoomを利用したリアルタイムで授業を行います。解説のあとは、みなさんに参加してもらいながら進めていきます。ZoomやLMS【manaba】経由で課題を提出してもらうこともありますが、はじめて作業を行う際には時間を取って説明します。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4 大学DP3

到達目標

フランス語の文法と発音の基礎を習得し、基本的なコミュニケーションができる。フランス文化に対する理解を深める。

授業計画

第1日：Zoom

1. イントロダクション
2. アルファベ、数詞
3. 自己紹介する

第2日：Zoom

4. 職業、住所
5. 話せる言語
6. 否定文

第3日：Zoom

7. 持ち物について
8. 名詞の性・数
9. 疑問文

第4日：Zoom

10. 好き嫌いを言う
11. 形容詞の性・数

第5日：Zoom

12. 行き先を言う
13. 交通手段

第6日：Zoom

14. 家族を紹介する
15. まとめ

受講にあたって

①**準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間** あらかじめ該当箇所を目をおしておく、より理解が深まります。授業で扱ったところはきちんと復習しておいてください。60分程度。なお、はじめてフランス語を学ぶひとは、もう少し時間がかかるかもしれません。

②**使用教科書** 新・オン プラティック 北村亜矢子 朝日出版社

③**参考書** 指定なし

④**準備するもの** 教科書

⑤**成績評価** 授業における発言や課題の取り組み、最終日の試験を総合的に評価します。

⑥**学生へのメッセージ** 楽しみながらフランス語を学んでいきましょう。

中国語（夏期スクーリング）

担当教員： 馮 日珍

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

中国語を基礎から学びます。発音記号(ピンイン)を学びつつ、発音の練習から始め、簡単な会話文を通して文法の基礎を学びます。またそれと同時に現在の中国の姿にも触れ、理解をより深めていただければと思っています。中国語の文法的な特徴を理解し、簡単な日常会話ができるよう、効率的にかつ楽しく勉強しましょう。

授業の方法

【面接】

教室での授業。授業は指定教科書を使用して進める。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

ピンインを手がかりに中国語の発音ができる。
挨拶、自己紹介、基本の文型を使用して簡単な会話ができる。

授業計画

第1日： ガイダンス：これから学ぶ中国語についての概略や 授業の進め方、勉強の仕方などについて、 1. 発音の基礎 (1) 音節、子音①、母音① 2. 発音の基礎 (2) 母音③、子音③	第4日： 8. 今していることを言う 9. 家族や仕事を紹介する 10. 食べたい物、飲みたいものを尋ねる
第2日： 3. 発音の基礎 (3) 母音④、子音④ 4. 発音の基礎 (5) 母音⑤、子音⑤	第5日： 11. できることを尋ねる 12. したことについて説明する 13. 天気を言う
第3日： 5. 数を含んだいくつかの表現 6. あいさつ語 7. 自己紹介する	第6日： 14. これからすることを言う 15. 復習

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

毎日の授業の後、復習に1時間程度が必要です。課題以外に毎日の復習として音声をよく聞きながら教科書の音読。予習として翌日に学ぶ課の「ポイント」に目を通してください。

②使用教科書 『週1回1年間で学ぶ 中国語の基礎』 上野恵司 著 白帝社

③参考書 ガイダンスで紹介します。

④準備するもの 教科書のほか、manabaを使用できるようにしてください。

⑤成績評価 manabaでの宿題提出の提出状況。授業での練習、最終日のテスト等により総合的に評価します。

⑥学生へのメッセージ 中国語は発音がとても大切です。発音記号を手がかりに中国語の発音をしっかりと練習したいと思います。
中国語の発音を楽しめるように少しずつ学習を進めていきましょう。受講生の皆さんの習熟度を見ながら授業を進めますので、シラバスは適宜変更する可能性があります。

中国語会話（前期土曜スクーリング）

担当教員： 孔 令敬

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

初級中国語を履修する学生を対象とした中国語会話の授業です。基礎的な文型を把握しながら正しい中国語表現を目指し、中国語検定の4級に準ずる基本語彙と文型を中心とする授業展開になります。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

中国の文化と表現習慣への配慮をもって、状況に応じた実用的かつ基本的なコミュニケーションができることを目標とします。

授業計画

毎回 manaba と Zoom にて授業を行う

第1日

1. 子音と母音の発音チェックと声調のチェック
2. 音節を読む練習と基本語彙を使つての発音練習
3. 挨拶表現と授業用語を使つた表現
4. 曜日についての表現

第2日

5. 動詞が述語の構文を使う表現名前の訊ね方と自己紹介など
6. 形容詞が述語の構文を使う表現天気と日にちと値段、行き方などを訊ねる表現

第3日

7. 存在と所有を表す構文を使う表現と数字を使う表現
8. 名詞が述語の構文を使う表現家族の構成や年齢などについての言い方

第4日

9. 現在進行中のことを表す表現
10. 前置詞（介詞）「給」を使う表現
11. 前置詞（介詞）「跟」を使う表現

第5日

12. 動態助詞「了」を使って動作の完了を表す表現
13. 語気助詞「了」を使って動作の存続や状況の変化、過去の行為を表す表現
14. 助動詞を使って願望を表す表現

第6日

15. 過去の経験を表す表現と連体修飾文の作り方と纏め

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

次回に学習する予定の課について、新出単語を調べておくことと、既習の課の単語と文型を十分に復習し、身に付けるようにすること。1回の授業につき、予習と復習に2時間程度。また、宿題を課する場所はプラス30分程度。

②使用教科書 一から始める中国語と会話練習用プリント 日本女子大学（PDF ファイルを manaba で配布）

③参考書 なし

④準備するもの 市販の日中辞典（電子辞書可）

⑤成績評価 既習の文型や表現をテストする：50%。
授業の参加度（会話や回答への積極性）：50%。

⑥学生へのメッセージ 充実した授業にするため、受講生の意欲的な授業参加を求めます。若干の予習と、十分な復習が必要です。

韓国語（前期土曜スクーリング）

担当教員： 金 順任

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

韓国語の基礎を学習します。教科書にそって文字と発音の練習から始めていき、基礎的な文法、表現を学びます。日常よく使うあいさつ言葉や単語を覚え、自己紹介ができるようになるまで進めます。韓国語は日本語と様々な点で類似していますので、その利点を生かして、効率よく楽しく進めていきたいと思えます。さらに語学の学習を通して、韓国社会と文化への理解も深めます。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom 等利用）】

Zoomを利用してリアルタイムで授業を行います。Zoomの際にはカメラオン必須です。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

辞書を活用して、韓国語の基本的な会話・読解・作文ができる。
簡単な自己紹介ができる。

授業計画

(第1日) zoom	(第4日) zoom
1. ガイダンス	8. 第2課 漢字語数詞
2. 母音 I	9. 第3課 名詞の否定文
3. 子音	(第5日) zoom
(第2日) zoom	10. 第4課 用言の改まった丁寧体
4. 母音 II	11. 第4課 助詞
5. 濃音・激音・パッチム	12. 第5課 用言の否定文
(第3日) zoom	(第6日) zoom
6. 第1課 名詞の改まった丁寧体	13. 第5課 固有語数詞
7. 第2課 名詞のカジュアルな丁寧体	14. 第5課 自己紹介文を作成
	15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

受講中は毎日新しいことを学習していきますので、復習を十分に行ってください。

1回の授業につき1時間程度の復習をしてください。

②使用教科書 韓国語会話 鄭寅玉・申奎燮 白帝社 2010

③参考書 なし

④準備するもの 特にありません。

⑤成績評価 発授業参加30%、発音・朗読などの小テスト40%、課題30%

⑥学生へのメッセージ 授業への積極的な参加を希望します。

韓国語会話（夏期スクーリング）

担当教員： 文 智暎

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

主に韓国語の入門を終えた程度の既習者を対象として、会話に必要な文法を学習しながら、会話の練習を行います。また、映像を用い、韓国文化への理解を深めることを目指します。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom利用）】

manaba と Zoom を利用した同時双方向型遠隔授業を教科書の内容に沿って行う。

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

簡単な会話ができることを目標とします。

授業計画

授業はすべて同時双方向型遠隔授業です。（manaba と Zoom を利用）

（第1日：manaba で出席確認後 Zoom）

1. ガイダンス

2. 文法の復習、自己紹介

3. 第5課 何時から何時までしますか？

固有語数詞の教え方、時間の言い方

4. 連用形の作り方①

5. 否定文の作り方

6. 第6課 昼ご飯はどこで食べますか

（第2日：manaba で出席確認後 Zoom）

7. 並列表現：安くておいしい

連用形の作り方②

8. 第7課 家から学校までどのくらいかかりますか

連用形の作り方③（縮約形）

9. 第8課 きのう何をしましたか

過去形の作り方

10. 「ㄱ」変則、A と B

11. 第9課 どんな料理が好きですか。

（第3日：manaba で出席確認後 Zoom）

12. 「～が上手だ/下手だ」「～が好きだ」

13. 第10課 おいしくしてください。

丁寧な指示・誘いの表現：～なさい、～てください

14. 依頼表現：～てください（連用形+ジュセヨ）

「ㅁ」変則

15. まとめ

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

教科書1課～4課までを復習してきてください。

受講中は毎日新しいことを学習していきますので、復習を十分に行ってください。1日の授業につき1時間程度。

②使用教科書 『韓国語会話』鄭寅玉・申奎燮 著 白帝社 2010

③参考書 なし

④準備するもの 教科書、筆記用具など

⑤成績評価 課題及び授業参加による評価（30%）、口頭テスト（40%）、筆記テスト（30%）

⑥学生へのメッセージ 授業への積極的な参加を希望します。

情報処理演習（前期土曜スクーリング）

担当教員：藤田 智子・渡邊 ゆり

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

情報科学および情報処理に関する基礎的な知識を、講義と実習の組み合わせによって習得する。コンピュータ利用に関する実習はWindows環境上でアプリケーションソフトウェアを用いて行う。また、情報科学およびコンピュータハードウェア・ソフトウェア、ネットワークに関する基本概念についても講義を通して学習し、情報化時代に求められる基礎的な能力を身につける。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom, Microsoft Teams 利用）】

テキスト（冊子、PDFファイル）と、LMS（manaba）やZoom、Teamsを利用した遠隔授業。

授業は、Zoomで開始し、講義、演習を行い、最後に補足説明、次回の授業に関する説明を行う。

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ①情報科学およびコンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク等の情報処理技術に関する基本的な知識の習得。
- ②ワープロ、表計算を中心とするアプリケーションソフトウェアの基本操作とその活用のための技術の習得。
- ③大学のLMS（学習管理システム：manaba）を利用したeラーニングに関する基本的な知識と基本操作の習得。

授業計画

実習環境について（事前にmanaba 掲示）	(4日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）
(1日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）	10. ソフトウェアとは
1. イントロダクションおよび情報倫理	11. Word 実習 I（文書作成の基礎）
2. 情報と情報処理	12. Word 実習 II（文書整形、表作成、絵や写真の挿入）
3. Excel 実習 I（表計算について）	(5日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）
(2日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）	13. ネットワークとインターネット
4. コンピュータのハードウェア	14. Excel, Word 実習（関数の応用、文書作成総合演習）
5. Excel 実習 II（グラフの作成）	(6日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）
6. Excel 実習 III（相対セルと絶対セル）	15. まとめと総合演習
(3日目) 同時双方向型（manaba および Zoom, Teams）	
7. 情報の表現	
8. Excel 実習 IV（論理と条件分岐）	
9. Excel 実習 V（データベース）	

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

【スクーリング開始前】キー入力はローマ字で行う。スムーズに入力できるように慣れておくこと。また、自宅での実習環境を整え、実習するPCおよび通信環境を事前に確認しておくこと（授業開始までに3時間程度）。OSはできるだけ最新のものがよい。Officeはインストール版の2016以上とする、それ以外はサポートできないため必要なら大学のアカウントを利用してインストールしておくこと。また、大学のメールアドレス（JASMINEメール）を確認しておくこと。

【スクーリング期間中】授業で十分理解できなかった点については、教科書や参考書、manabaで配布された資料等を参照して次回までに理解を深めておくこと。課題等があれば必ずやっておくこと（1回の授業につき2時間程度）。

②使用教科書 30時間アカデミック Office2019 Windows10対応 実教出版社

③参考書 キーワードで学ぶ最新情報トピックス2023 日経BP社 補助プリント（必要に応じてPDFにて配付予定）

④準備するもの パソコン環境：演習を行うパソコンは、Windows（Windows10またはWindows11）を推奨します。Mac（Mojave以上）は使用できますがサポートはあまり望めません。Chromebookは不可。Officeはインストール版2016以上でExcelとWordを使用する（Officeのバージョンが違くと、Officeの機能不足により課題が提出できないことがあります）。Online版は不可。閲覧環境：資料閲覧やZoom視聴用として、スマートフォン・タブレット・Chromebook等の使用は可。

⑤成績評価

担当教員によって異なるが、原則として6日目（最終日）に実施する総合演習の成績を中心に課題レポートなどを加味して決める。

⑥学生へのメッセージ

受講に際し本学アカウント（ユーザ名(ID)とパスワード）が必要です。入学時に個別通知されていますので、各自受講前に必ず確認しておいてください。本学アカウントでZoomに参加してください。

土曜スクーリングは週1回の授業となりますが、授業時間中はできるだけ初回から最終日まで同じパソコンを使用してください。

毎回課題があり、授業前後に自宅学習を要しますので、自宅のPCよりmanabaにアクセス可能な環境を整えることをおすすめします。

初回授業で実施するアンケートと演習をもとに、クラスを2つに分けます。クラスごとにLMSとZoomを利用して操作を一緒に行う場合もあるので、パソコンの操作に不慣れな方にとっては負担が大きいと思われます。パソコンに不慣れな方は、④の閲覧環境に記載しているようなタブレットやサブモニタを用意できるとよりよいです。④に記載しているパソコン環境を準備するのが難しい方、およびPCの通信環境が悪い方は、課題の提出が難しくなるので、対面授業での履修をお勧めします。

また、質問は、manabaの掲示板で受け付けます。

なお、履修者数が多い場合には人数制限する可能性があります（2クラス合計で60名までとする）。

情報処理演習（夏期スクーリング）

担当教員：藤田 智子・渡邊 ゆり

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

情報科学および情報処理に関する基礎的な知識を、講義と実習の組み合わせによって習得する。コンピュータ利用に関する実習はWindows環境上でアプリケーションソフトウェアを用いて行う。また、情報科学およびコンピュータハードウェア・ソフトウェア、ネットワークに関する基本概念についても講義を通して学習し、情報化時代に求められる基礎的な能力を身につける。

授業の方法

【面接】

テキスト（冊子、PDFファイル）利用した対面授業。ファイル配布や課題提出に、LMS(manaba)を利用する。

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ①情報科学およびコンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク等の情報処理技術に関する基本的な知識の習得。
- ②ワープロ、表計算を中心とするアプリケーションソフトウェアの基本操作とその活用のための技術の習得。
- ③大学のLMS（学習管理システム：manaba）を利用したeラーニングに関する基本的な知識と基本操作の習得。

授業計画

実習環境について（事前にmanaba 掲示）	（4日目）
（1日目）	10. ソフトウェアとは
1. イントロダクションおよび情報倫理	11. Word 実習 I（文書作成の基礎）
2. 情報と情報処理	12. Word 実習 II（文書整形、表作成、絵や写真の挿入）
3. Excel 実習 I（表計算について）	（5日目）
（2日目）	13. ネットワークとインターネット
4. コンピュータのハードウェア	14. Excel, Word 実習（関数の応用、文書作成総合演習）
5. Excel 実習 II（グラフの作成）	（6日目）
6. Excel 実習 III（相対セルと絶対セル）	15. まとめと総合演習
（3日目）	
7. 情報の表現	
8. Excel 実習 IV（論理と条件分岐）	
9. Excel 実習 V（データベース）	

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

【スクーリング開始前】 キー入力はローマ字で行う。スムーズに入力できるように慣れておくこと。また、自宅での実習環境を整え、実習するPCおよび通信環境を事前に確認しておくこと（授業開始までに3時間程度）。Officeはインストール版の2019以上とする、それ以外はサポートできないため必要なら大学のアカウントを利用してインストールしておくこと。また、大学のメールアドレス（JASMINEメール）を確認しておくこと。

【スクーリング期間中】 授業で十分理解できなかった点については、教科書や参考書、manabaで配布された資料等を参照して次回までに理解を深めておくこと。毎回課題があるので、必ずやっておくこと（1回の授業につき2時間程度）。

②使用教科書 30時間アカデミック Office2019 Windows10対応 実教出版社

③参考書 キーワードで学ぶ最新情報トピックス2023 日経BP社 補助プリント（必要に応じてPDFにて配付予定）

④持参するもの 特になし

⑤成績評価

担当教員によって異なるが、原則として6日目（最終日）に実施する総合演習の成績を中心に課題レポートなどを加味して決める。

⑥学生へのメッセージ

受講に際し本学アカウント（ユーザ名(ID)とパスワード）が必要です。入学時に個別通知されていますので、各自受講前に必ず確

認しておいてください。

自宅での課題作成にはできるだけ初回から最終日まで同じパソコンを使用してください。

初回授業より前に manaba に資料をを掲示します。毎回課題があり、授業前後に自宅学習を要しますので、自宅の PC より manaba にアクセス可能な環境を整えることをおすすめします。

- ・パソコン環境：自宅で課題作成等の演習を行うパソコンは、Windows（Windows10 または Windows11）を推奨します。Mac は使用できませんがサポートはあまり望めません。Chromebook は不可。 Office はインストール版 2019 以上で Excel と Word を使用する（Office のバージョンが違くと、Office の機能不足により課題が提出できないことがあります）。Online 版は不可。
- ・閲覧環境：資料閲覧用として、スマートフォン・タブレット・Chromebook 等の使用は可。

初回授業で実施するアンケートと演習をもとに、クラスを 2 つに分けます。なお、履修者数が多い場合には人数制限する可能性があります（2 クラス合計で 60 名までとする）。

情報科学 (テキスト)

担当教員： 小川 賀代・長谷川治久

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

20世紀半ばのコンピュータの出現と、その後の情報通信技術の急速な普及により、現在では地球規模の情報ネットワークが張り巡らされ、マルチメディア、ネットワークなどの用語をいたる所で耳にするようになってきた。このような情報を取り扱う科学は、コンピュータと通信を基盤とし、広範な分野を包含する新しい学問であるが、今やこれに関する知識は日常生活に不可欠なものになっている。この科目では、情報とその表現、コンピュータ処理の原理、通信の基礎的な知識、および目的に合わせて効果的にコンピュータを使いこなすためのソフトウェア利用法などを、テキストを通じて学ぶ。さらに新しいコンピュータ処理方式やマルチメディア情報の利用法など、最新の分野についてもふれる。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

情報の表現、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、コンピュータの応用技術、ネットワークなどの情報科学に関する一般的な基本知識の修得。

学習の進め方

1. テキストの章ごとに学習を進める。深く学習したい場合は参考文献を調べる。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習してから、リポートを作成し、テキスト・参考文献との整合性等を確認した上で提出する。
3. リポート合格後、科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポートで誤った課題やコメントを受けた課題については十分理解を深めておく。
4. 科目修了試験受験後は問題をどの程度解けたか確認し、難しかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服することを推奨する。

内容

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 学習内容と手順の確認 | 9. 情報やメディアに関する技術 |
| 2. 情報とは何か | 10. ネットワークに関わる技術 |
| 3. 情報化社会と私たち | 11. インターネットの利用 |
| 4. コンピュータの歴史 | 12. 情報倫理とルール |
| 5. コンピュータの基礎 | 13. 脅威とセキュリティ |
| 6. ハードウェアの技術 (内部構造) | 14. IT業界をリードする企業 |
| 7. ハードウェアの技術 (記憶と外部装置) | 15. まとめ |
| 8. ソフトウェアの技術 | |

テキスト・参考書

①テキスト キーワードで学ぶ 最新情報トピックス2023 日経BP、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 指定なし

成績評価

①リポート 課題の理解40%、学習成果30%、リポートの完成度30%

②科目修了試験 設問ごとに配点を設け、合計点で評価する。

身体運動実習（夏期スクーリング）

担当教員： 佐古 隆之・小川 哲也

山田 小夜歌

1年次～ 必修1単位

スクーリング科目／2023年度

概要

生涯にわたりスポーツを楽しく実践していくための基礎的能力に関する講義および実技を行う。

授業の方法

【面接】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

- ①自らのライフスタイルをコントロールしていく上で重要となる健康の保持増進のため、その基礎となる身体の諸機能を高める方法の習得を目指す。
- ②運動を楽しみたいという欲求を高め、生涯にわたりスポーツを楽しく実践していくための方法の習得を目指す。

授業計画

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. ガイダンス、講義1：運動の意義 | 9. 実技5：持久的運動種目 |
| 2. 実技1：ストレッチング | 10. 実技6：瞬発的運動種目 |
| 3. 実技2：ボール遊び | 11. 講義5：運動と栄養 |
| 4. 講義2：身体活動と生活習慣病 | 12. 実技7：ウォーキング（学外） |
| 5. 実技3：ソフトバレーボール | 13. 講義6：筋力トレーニング理論 |
| 6. 講義3：呼吸器、循環器、骨格筋のはたらき | 14. 実技8：筋力トレーニング |
| 7. 実技4：バドミントン | 15. まとめ |
| 8. 講義4：運動処方 | |

受講にあたって

- ①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間 指定しない
- ②使用教科書 指定しない
- ③参考書 これからの健康とスポーツの科学 第5版（テキスト科目テキスト）
- ④持参するもの

筆記用具、運動をするのに適した服装、体育館シューズ、タオル

屋外で実施するウォーキング時に必要な、歩きやすい外履きシューズ、日よけの帽子、水筒（ペットボトル可）、虫除けスプレー等

⑤成績評価

身体運動はその意義を理解するだけでなく、実践が伴わなければならない。授業に取り組む姿勢、目標達成度、技能、レポートについて、それぞれの最終成績の60%、10%、10%、20%を目安として評価する。最終成績60点以上を合格とする。

⑥学生へのメッセージ

身体運動実習は、体育館でバドミントン、卓球、ソフトバレーボールなどを主として複合的な運動種目を行います。過度に激しい運動は行いません。ジャージ（更衣室有）、タオル、体育館シューズ、飲み物（冷水器有）等を準備すること。ラケット等の用具は準備されています。

- ・実習は午前科目の時間（9:00～12:55）を実技に関する講義および実技（それぞれ約110分）に分けて実施する。
- ・第1日目は、はじめにガイダンスを行う。集合場所（香雪館2階 香205教室）に午前9時までに集合すること。ガイダンス終了後は講義と実技を行うので、筆記用具や運動服等を準備すること。
- ・授業では原則としてマスクを着用し、毎回健康チェックシートを提出すること（詳細は初回授業で説明）。

特記事項 夏期スクーリングにおいては、病気、けが、身体的ハンディキャップ等で実技の受講が難しい学生のために実技制限コースを設けています。このコースは提出された健康診断書を基にして保健管理センターの判断等を含めて最終的なコース決定を行い、該当の学生には個別に連絡します。

身体運動論 (テキスト)

担当教員：澤田美砂子・杉山 哲司

佐古 隆之・小川 哲也

1年次～ 必修1単位

テキスト科目／2023年度

概要

近代文明はヒトに大きな恵みをもたらしたが、一方では運動不足をもたらし、健康や体力に多くの問題を投げかけている。また、平均寿命が長くなり、各年代における運動のあり方や方法も多様化している。身体運動論は健康や体力の維持・向上に必要な基礎的・応用的な知識を提供し、その知識を効果的な実践に結びつけることを学ぶ科目である。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP1 大学DP4

到達目標

生涯における運動のあり方を、運動生理学、心理学の理論から理解する。

学習の進め方

1. テキストの指定された章を読む。
2. リポート課題を確認し、関係箇所をテキストと参考文献で学習した後、リポートを作成し、課題、テキストや参考文献との整合性等を確認する。リポートを清書し、提出する。
3. リポート不合格の場合は添削文をよく読み、再提出する。
4. リポート合格後は科目修了試験に向けてテキストや参考文献を深く読む。

内容

[テキスト範囲]

1、2、4、5、7、10、11、12、14、15章

[内容]

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1章 健康を推進するための生活スタイルとは | 7章 高い持久力は何によって決まるのか？ |
| 2章 運動習慣は生活習慣病を予防・改善し、寿命を延ばすことができるか？ | 10章 どのような運動をすると骨が強くなるか？ |
| 4章 肥満を改善するための方法 | 11章 加齢による筋萎縮に対する運動と栄養摂取の役割 |
| 5章 力強さや爆発的なパワーは何か違うのか？ | 12章 子どもの体力・運動能力を改善する方法とは |
| | 14章 動作の巧みさを科学する |
| | 15章 ストレスと運動 |

テキスト・参考書

①テキスト これからの健康とスポーツの科学 第5版 安部孝・琉子友男編 講談社、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 『リポート課題集』参照。

成績評価

①リポート 全体を100%として、課題の理解40%、学生自身の学習効果40%、リポートの完成度20%の割合で評価する。

②科目修了試験 各回について、全4問のうち、第1問は共通問題（40点）として全員が解答する。第2問から第4問は選択問題（30点）として3問中2問に解答する。各回、計100点。それぞれ知識40%、理解30%、論理性30%の割合で評価する。

その他

基本はテキストにありますから、テキストをよく理解して科目修了試験に臨んでください。